

株主メモ

事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	毎年6月開催
基準日	期末配当金 毎年3月31日 中間配当金 毎年9月30日 そのほか必要があるときは、予め公告して定めた日 ※当期の中間配当金につきましては、その実施を見送らせていた だきました。
単元株式数	100株
株主名簿管理人および 特別口座の口座管理機関	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社
株主名簿管理人 同事務取扱場所 (郵便物送付先)	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部 〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
(電話照会先)	☎0120-782-031
(インターネットホームページURL)	http://www.smtb.jp/personal/agency/index.html
公告の方法	当社のホームページに掲載する http://www.ferrotec.co.jp/
上場証券取引所	株式会社東京証券取引所 ジャスダック市場

・株式に関する住所変更等のお届出およびご照会について

証券会社の口座をご利用の場合は、三井住友信託銀行ではお手続きができませんので、取引証券会社へご照会ください。証券会社の口座のご利用がない株主様は、上記電話照会先までご連絡ください。

第34期 第2四半期決算報告

BUSINESS REPORT

平成25年4月1日～平成25年9月30日

証券コード：6890

FerroTec

株式会社 フェローテック

〒103-0027 東京都中央区日本橋 2-3-4

日本橋プラザビル

TEL 03-3281-8808 FAX 03-3281-8848

URL <http://www.ferrotec.co.jp/>

UD FONT

見やすいユニバーサルデザインフォント
を採用しています。



森林に配慮して適切に管理された
森林認証紙を使用しています。



環境に配慮した植物油インキを
使用しています。

FerroTec
株式会社 フェローテック



未来に向かう フェローテックのビジネス

代表取締役社長 山村 章

Q 会社の経営について、今思っていることは？

思っていた以上に会社を大きくすることができましたが、社外からは、多くのことを手掛けているために収益が少ないと見られる向きもあるので、それについては一始末つけたいと考えているところです。それから次の世代に経営をバトンタッチするのが自分の責任かと思えます。

会社が大きくなっているだけに、コントロールすることが難しくなっていますし、今は全社員の団結力が必要な時ですね。

Q 将来の事業ポートフォリオについては？

ビジネスプランの実行において、将来予測というのは難しいですが、大きな視点では、世界の変化にフレキシブルに対応していくということでしょうし、その中では人間同士の信頼関係が一番大切になってきます。特にグローバルな事業展開では、お互いのリスペクトが不可欠ですし、それに基づいて「何でもやる」という

のが、今の当社のスタンスでもあります。そこが強みであり、弱みにもなっているところかも知れません。

成長産業として期待できるのはメディカル関連、特に高齢者を対象とする医療分野は大きな市場になるでしょう。幸い当社のサーモモジュールには、この分野で進展していける要素があります。サーモモジュールは、今後もっと市場を拡大できる製品だと思っています。

真空シールはメディカル分野だと、薬品の製造工程に導入することで歩留まり改善をもたらすことができます。ただし、半導体の製造工程ほどの厳密さが求められる世界ではないですし、日米の製薬会社はすでにこうした投資を終えているので、当社は中国市場でマーケティングを進めています。

他には、世界人口の増加を背景に拡大していく食品分野にも、何らかの形で入っていきたいですね。

Q フェローテックが過去から学んできたことは？

「学ぶ」というのは、間違いを見つけてそれを直すことと、新しいものを探して実行すること、その両方があると思いますが、ビジネスでは前者が特に重要です。問題点を把握して、対策を考え、実行し、検証するというループが組織の中で十分に機能していれば、会社は発展していくでしょうし、そのループが長く延びればコストが多くなります。

当社の歩みにおいても、半導体関連が落ち込んだ時に的確に対応し、太陽電池関連事業にシフトする展開ができなかったら、今のフェローテックはなかったでしょう。

Q 株主の皆様にお伝えしたいことは？

純資産15,000ドルでスタートした小さな会社が、米国から日本、中国へとグローバルに事業を展開し、それを300億円にまで拡大させることができました。これもひとえに株主・投資家の皆様のご支援によるものと深く感謝いたします。

特に個人の株主様で、株価の上昇局面からご購入いただいた方々や、上場時から保有し続けていただいている方々に報いることができるよう、近い将来において事業の再成長を果たしてまいります。

今後ともご指導ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

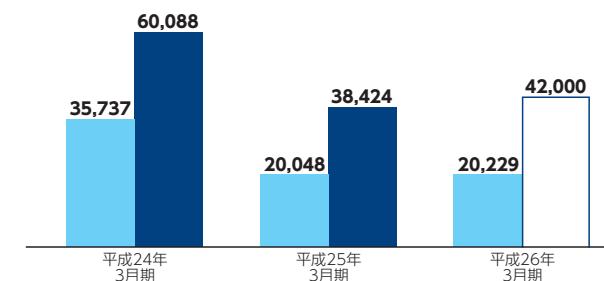
平成25年12月

● 決算ハイライト

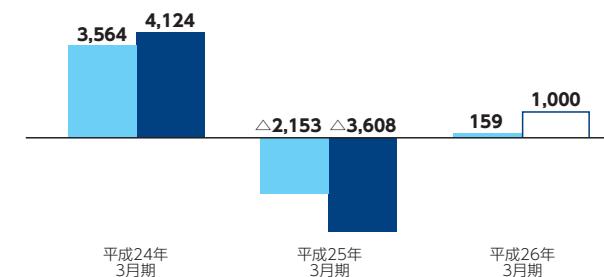
(単位:百万円)

■ 第2四半期累計 ■ 通期 □ 予想

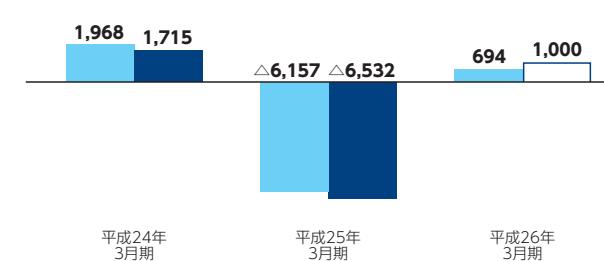
連結売上高

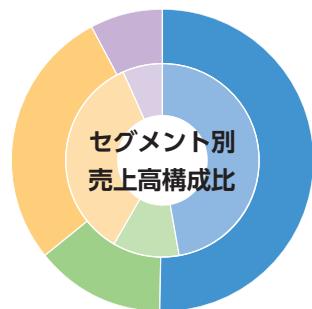


連結営業利益又は営業損失(△)



連結四半期(当期)純利益又は四半期(当期)純損失(△)





当社は、製品用途の類似性と販売先業種により区分し、「装置関連事業」「太陽電池関連事業」及び「電子デバイス事業」の3事業を報告セグメントとしております。

	平成25年3月期 第2四半期(内周)	平成26年3月期 第2四半期(外周)
装置関連事業	47.4%	50.4%
電子デバイス事業	11.0%	13.9%
太陽電池関連事業	35.0%	28.1%
その他	6.6%	7.7%

装置関連事業

売上高 **101億円** 営業利益 **0.7億円**

石英製品、セラミックス製品など製造プロセスに使用されるマテリアル製品は、スマートフォン用メモリやロジック系の設備稼働の上昇で需要の増加はありましたが、値下げ要求が厳しく売上高の伸びは限定的でした。また、認定用評価品を多数提供したことから、利益を圧迫しました。各種製造装置に使用される真空シールは、FPD向けの設備投資が一巡し、半導体向けの設備投資が一部で延期されたことから軟調に推移しました。シリコンウエーハ加工は、総じて底堅く推移しました。



セラミックス製品



真空シール

電子デバイス事業

売上高 **28億円** 営業利益 **2億円**

主力の自動車温調シート向けサーモモジュールは、自動車販売が好調に推移し特に米国市場においては、温調シートが搭載される高級セダンやSUV向けの採用が増加いたしました。その他、検査装置、バイオ関連機器が総じて底堅く推移し、加えて、美容家電や浄水器サーバーなど民生分野の販売を広げました。磁性流体も、超高精細4Kテレビやフィッシング用リール向けなどに採用され堅調に推移しました。



磁性流体



サーモモジュール

太陽電池関連事業

売上高 **56億円** 営業利益 **△1億円**

太陽電池産業は、中国・日本・米国市場への太陽電池パネル設置量が伸び、中国や台湾パネルメーカーの経営統合や企業淘汰が進み、市場環境は落ち着きを取り戻しつつあります。しかし、新規の製造装置需要はなく、消耗品である石英坩堝や角槽は、回復の兆しはあるものの総じて低調な売上高となりました。シリコン製品をOEM特化した結果、国内・台湾ユーザーからの引き合いが増加し、徐々に受注に結びついております。



OEM製品



石英坩堝

※ 記載金額は、億円未満を切り捨てて表示しております。
各セグメントの売上高は、外部顧客に対する数値を記載しております。

連結貸借対照表

(単位:百万円)

科目	当第2四半期 平成25年9月30日現在	前期 平成25年3月31日現在
資産の部		
流動資産	39,165	34,271
固定資産	33,979	32,072
有形固定資産	27,523	24,914
無形固定資産	1,585	1,683
投資その他の資産	4,870	5,473
資産合計	73,144	66,343
負債の部		
流動負債	30,884	27,243
固定負債	7,498	8,660
負債合計	38,382	35,904
純資産の部		
株主資本	29,906	29,366
その他の包括利益累計額	4,111	399
少数株主持分	744	673
純資産合計	34,762	30,439
負債純資産合計	73,144	66,343

※ 記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

科目	当第2四半期 平成25年4月1日から 平成25年9月30日まで	前第2四半期 平成24年4月1日から 平成24年9月30日まで
営業活動による キャッシュ・フロー	2,013	△157
投資活動による キャッシュ・フロー	△1,761	△2,024
財務活動による キャッシュ・フロー	115	△71
現金及び現金同等物に係る 換算差額	474	153
現金及び現金同等物の 増減額(△は減少)	841	△2,100
現金及び現金同等物の 期首残高	7,373	9,560
現金及び現金同等物の 四半期末残高	8,215	7,460

※ 記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

連結損益計算書

(単位:百万円)

科目	当第2四半期 平成25年4月1日から 平成25年9月30日まで	前第2四半期 平成24年4月1日から 平成24年9月30日まで
売上高	20,229	20,048
売上原価	15,189	16,413
売上総利益	5,040	3,635
販売費及び一般管理費	4,880	5,788
営業利益(△は損失)	159	△2,153
営業外収益	1,257	86
営業外費用	886	644
経常利益(△は損失)	530	△2,711
特別利益	659	79
特別損失	6	2,909
税金等調整前四半期純利益(△は損失)	1,182	△5,541
法人税等	480	805
少数株主損益調整前四半期純利益(△は損失)	702	△6,346
少数株主利益(△は損失)	8	△189
四半期純利益(△は損失)	694	△6,157

※ 記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

連結包括利益計算書

(単位:百万円)

科目	当第2四半期 平成25年4月1日から 平成25年9月30日まで	前第2四半期 平成24年4月1日から 平成24年9月30日まで
少数株主損益調整前四半期純利益(△は損失)	702	△6,346
その他の包括利益	3,774	477
その他有価証券評価差額金	△283	△42
為替換算調整勘定	4,030	515
持分法適用会社に対する持分相当額	27	4
四半期包括利益	4,477	△5,869
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	4,406	△5,694
少数株主に係る四半期包括利益	70	△174

※ 記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

株式の状況

発行可能株式総数	67,000,000株
発行済株式総数	30,903,702株
株主数	19,992名

大株主

株主名	持株数(株)	持株比率(%)
野村信託銀行株式会社(信託口)	924,000	2.99
山村 章	813,600	2.64
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	575,400	1.86
CBNY DFA INTL SMALL CAP VALUE PORTFOLIO	492,672	1.59
株式会社SBI証券	427,300	1.38
日本証券金融株式会社	426,900	1.38
株式会社三菱東京UFJ銀行	420,000	1.36
三井造船株式会社	410,000	1.33
三井住友信託銀行株式会社	400,000	1.29
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	365,300	1.18

(注)当社は自己株式93,424株を保有しておりますが、上記大株主からは除外しております。

所有者別株式分布状況



(注)自己株式93,424株は上記のグラフ中の株式数に含まれていません。

会社概要

商号	株式会社フェローテック
(英文表記)	Ferrotec Corporation
設立	昭和55年9月27日
資本金	132億134万6,010円
株式公開	JASDAQ 平成8年10月18日 (証券コード:6890)
決算期	3月31日
従業員数	173名

事業所

本社	〒103-0027 東京都中央区日本橋2-3-4 日本橋プラザビル
関西営業所	〒564-0051 大阪府吹田市豊津町11-34 第10マイダビル1階
千葉工場	〒289-2131 千葉県匝瑳市みどり平1-4
会津工場	〒965-0102 福島県会津若松市真宮新町北2-53

役員

取締役	代表取締役社長	山村 章
代表取締役副社長	山村 丈	
代表取締役副社長	賀 賢 漢	
取締役	小松 輝 寿	
社外取締役	島田 忠 男	
社外取締役	片山 茂 雄	
社外取締役	中村 久 三	
監査役	常勤社外監査役	宮田 賢 一
社外監査役	井上 朗	
社外監査役	福森 久 美	

グローバルネットワーク

国内	海外
株式会社フェローテックセラミックス(東京)	香港漢虹新能源裝備集團有限公司(香港)
杭州大和熱磁電子有限公司(中国杭州市)	台湾飛羅得股份有限公司(台湾)
杭州和源精密工具有限公司(中国杭州市)	Ferrotec Korea Corporation(韓国)
杭州先進石英材料有限公司(中国杭州市)	FERROTEC CORPORATION SINGAPORE PTE.LTD.(シンガポール)
杭州晶鑫科技有限公司(中国杭州市)	Ferrotec(USA) Corporation(アメリカ)
上海申和熱磁電子有限公司(中国上海市)	Ferrotec GmbH(ドイツ)
上海漢虹精密機械有限公司(中国上海市)	Ferrotec Ltd.(イギリス)
上海漢虹国際貿易有限公司(中国上海市)	Ferrotec S.A.(スペイン)
寧夏銀和新能源科技有限公司(中国銀川市)	Ferrotec S.R.L.(イタリア)
寧夏富樂德石英材料有限公司(中国銀川市)	Ferrotec SARL(フランス)
富樂德科技發展(天津)有限公司(中国天津市)	Ferrotec Nord Corporation(ロシア)

■ フェローテックグループ会社のご紹介

FERROTEC CORPORATION SINGAPORE PTE. LTD.

フェローテックは1900年代に入ると積極的な海外進出を開始。1997年、東南アジアでの販売力強化に向けてFERROTEC CORPORATION SINGAPORE PTE.LTD.(フェローテック・シンガポール)を設立しました。

東南アジアを中心に幅広いエリアで販売 高付加価値製品・サービスで信頼を獲得

近年、経済成長著しい東南アジアの新興市場を中心に事業展開するフェローテック・シンガポールは、半導体・FPD製造装置の基幹部品である真空シールやその製造工程で使用する消耗品の石英製品、セラミックス製品、当グループのコア技術、磁性流体やサーモモジュールを主に取り扱っています。

ASEAN諸国からインドやオーストラリアまで含む広い地域で、グループネットワークを活かした付加価値の高い製品・サービスを提供し、お客さまとの強い信頼関係を築いています。



フェローテックシンガポール

会社概要

商号	FERROTEC CORPORATION SINGAPORE PTE.LTD.
所在地	12 Tannery Road #09-03 HB Centre 1 S347722
設立	1997年
資本金	1,300,000シンガポールドル
従業員数	6名